

夏休みといえば 『読書感想文』

読書感想文の提出は、希望者のみですが、
この夏あなたも書いてみませんか？

裏面は読書感想文特集！

新着図書案内

学科の専門書（その1） **林業科**

『森への働きかけ 森林美学の新体系構築に向けて』

『木力検定 1 木を学ぶ100問』

『木力検定 2 もっと木を学ぶ100問』

『木力検定 3 森林・林業を学ぶ100問』

『シロアリの事典』

『カラー版 日本有用樹木誌』

『あて材の科学 樹木の重力応答と生存戦略』

『ヒア・カムズ・ザ・サン』

(東京バンドワゴン第10弾) 小路幸也 著(集英社)

老舗古書店〈東京バンドワゴン〉を営む堀田家に、まさかの幽霊騒ぎが持ち上がる。夜中に棚から本が落ち、白い影が目撃されて、みんなドキドキ。我南人たちがつきとめた、騒動の意外な真相とは？ さらに、貴重な古文書を巡って招かれざる客が来訪。それが思わぬトラブルへと発展して…。



お知らせ

管理棟内部大規模改修工事が10月から来年1月下旬にかけて行われます。工事期間中は、「生徒会室」を「図書館」として使用します。引っ越しに伴い、夏休みより本の箱詰めを行う予定です。引っ越し先では、すべての本を並べることができませんので、規模を縮小して開館します。あまり利用されていない本から箱詰めを行う予定ですが、これはぜひ書架に並べて欲しいという本がありましたらお知らせください。

9月になりましたら引っ越しのため閉館を予定しています。詳しい日程がわかりましたらお知らせします。

みなさんには大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



『新聞力』 齋藤孝 著(筑摩書房)

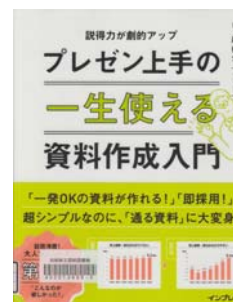
記事を切り取り、書き込み、まとめる。ネット社会のいま、「新聞力」を味方につけるためのテクニックを伝授。情報感度が上がって問題解決能力が身に付く、社会を生き抜くための真の教養を紹介する。



『一生使えるプレゼン上手の資料作成入門』

説得力が劇的アップ』 岸啓介 著(インプレス)

スライド初心者でも今すぐ実践できる、「即採用」の資料作成のコツを全公開。説得力が劇的にアップする「最低限」の資料作成知識をビジュアルで解説する。



～本の返却期限、過ぎていませんか？～

返却期限が過ぎてしまっている本を持っている人は、返却するか貸出延長の手続きを！

読書感想文特集

◇第63回青少年読書感想文全国コンクール課題図書（高等学校の部）

『フラダン』 古内一絵 作（小峰書店）

女子率100%のフラダンス愛好会に集められた4人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場だった。震災から5年後の福島を舞台に描く、とびきりの笑顔と涙の青春ストーリー。部活動を通して生徒が互いに友情を育み、成長していく様子、東日本大震災の復興に対する被災者のさまざまな思いが描かれている。



『ストロベリーライフ』 荻原浩 著（毎日新聞出版）

農業なんてカッコ悪い、と思っていたはずだった。イチゴ農家を継げと迫る母親。猛反対の妻。志半ばのデザイナーの仕事はどうするのか。夢を諦めるか、実家を捨てるか…。甘い苺づくりに夢をかける望月農園の“甘くな〜い”お仕事小説。



『犬が来る病院：命に向き合う子どもたちが教えてくれたこと』

大塚敦子 著（KADOKAWA）

「わたしの病院、犬が来るの」それは、子どもたちへのすばらしい贈り物だった。日本で初めて小児病棟にセラピー犬の訪問を受け入れた医療機関、聖路加国際病院。入院中であっても子どもたちが豊かな時間を過ごし、困難を乗り越えていけるように、医師や看護師、保育士、心理士、チャプレン（病院で働く牧師）等多くのスタッフたちで行われる取り組みを、4人の子どもたちの生死を通して描いた感動のノンフィクション。



◇読書感想文Q & A

なぜ「読書感想文」を書くか？

読書感想文を書くと、どんないいことがあるのでしょうか？

1. 本を読んだら誰でも持つ「漠然とした感想」を、そのまましておかず筋道を立てた文章としてまとめていくことで、必然的にその本に対する理解が深まるという点です。
2. 本に描かれたテーマを「自分の問題」として真剣に受け止めて考えることによって、あなた自身の「考える」力を高めることができるという点です。

どんな本を読めばいいの？

思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。

「読書のしおり」の“読書感想文の書き方”や“高校生のためのブックリスト”をぜひ活用してください

何をどう書けばいいの？

本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。